

# 平成30年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区　名	東淀川区
学　校　名	豊新小学校
学校長名	藤原義裕

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）

- ・主として「知識」に関する問題（A問題）
  - ・主として「活用」に関する問題（B問題）
- ※ 理科については、主として「知識」に関する問題と、主として「活用」に関する問題を一体的に出題

### (2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・豊新小学校では、第6学年 70名

## 平成30年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語A・B、算数A・B、理科のいずれにおいても、平均正答率が大阪市平均・全国平均を下回った。主に「活用」に関する問題の国語B、算数Bでは、全国との差は約-12~13ポイントとなり、特に記述式問題において正答率が低くなる傾向が見られ、苦手意識を持っている。無回答率は、国語A・算数Aにおいて、大阪市平均・全国平均を上回る結果となった。学習の理解や技能を要する基礎的・基本的な内容、また、思考力を必要とする応用的な内容も定着がやや十分でないことがわかる。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

### 〔国語〕

A問題「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」領域の平均正答率が、全国平均から9.9ポイント下回っている。また、B問題「書くこと」領域でも全国平均から15.6ポイントの差があり、課題が見られる。

### 〔算数〕

A問題「数と計算」の平均正答率が全国平均から10.0ポイント、B問題「図形」の平均正答率が全国平均から15.6ポイント下回り、課題が見られる。

### 〔理科〕

A区分「エネルギー」領域の平均正答率が全国平均から17.4ポイント、B区分「生命」領域の平均正答率が全国平均から17.2ポイント下回り、課題が見られる。

質問紙調査より

「自分にはよいところがあると思いますか」の設問に、肯定的な回答をする児童の割合が75.8%と全国平均(83.5%)より、7.7ポイント低いことから自尊感情の低さがうかがえる。

「学校のきまりを守っていますか」の設問に、「当てはまる」と回答した児童の割合は40.0%。大阪市の平均が38.9%なので、大阪市の平均を1.1ポイント上回っている。秩序のある落ち着いた日常生活を送っていることがわかる。

「算数の授業の内容はよく分かりますか」の設問に、肯定的な回答をする児童の割合が90.0%と全国平均(83.4%)を6.6ポイント上回っていることから、授業中の理解はできている。

## 今後の取組(アクションプラン)

- ・読書に親しめる環境づくりをボランティアの方々に協力していただき進めているので、子どもたち同士で本の紹介をし合ったり、感想を短くまとめるといった活動等をして、積極的な読書活動につなげていきたい。国語の授業では、発問の意味や中心を捉えられるように、指示を聞いて物事に取り組むだけでなく、自ら内容を読み取って学習を進めるようなことも意識的に進めていきたい。
- ・算数の問題を解決する過程で、数量の関係を捉え、図や数直線などに表したり、作業的・体験的な活動を通して、意味や関係について理解できるように進めていく。
- ・液晶大型テレビやタブレットなどのICTを使った学習にも積極的に取り組む。デジタル教科書などを活用した、より児童にとってわかりやすい授業を展開することにより、児童の理解力や情報活用力を確かなものにしていく。

## 【 全体の概要 】

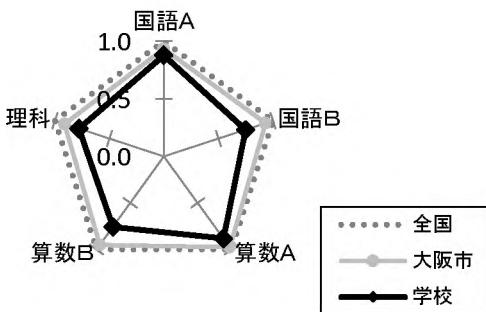
### 平均正答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
学校	62	41	56	39	47
大阪市	66	51	62	49	55
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

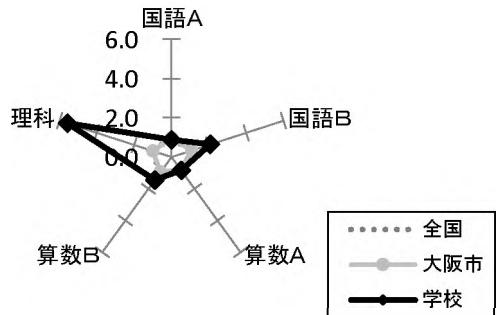
### 平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
学校	3.1	7.9	2.1	11.4	6.7
大阪市	3.4	4.1	2.0	7.4	1.2
全国	3.5	3.8	2.5	7.9	1.2

平均正答率(対全国比)



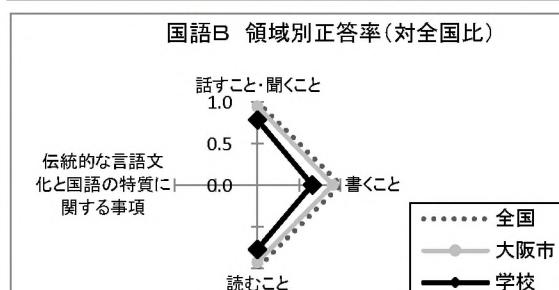
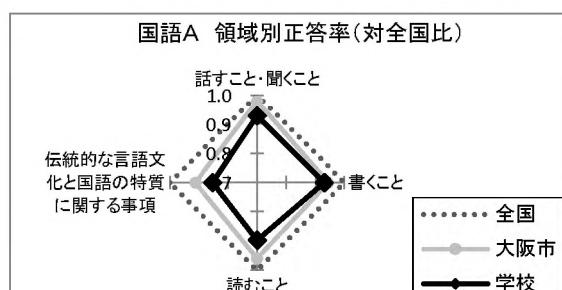
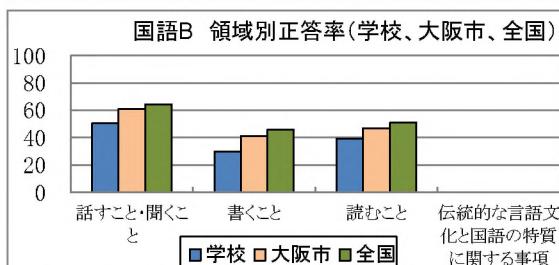
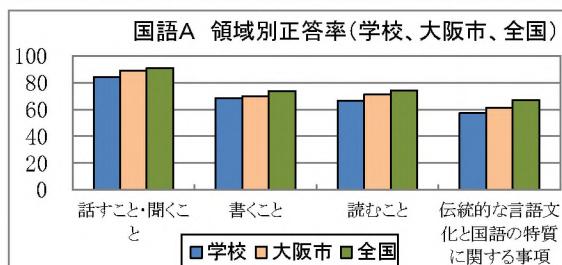
平均無解答率(対全国比)



## 【 国 語 】

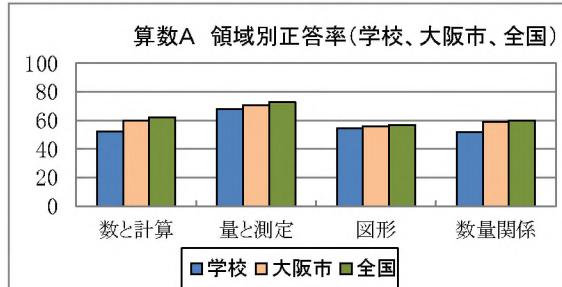
A 問 題	対象設問数(問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	84.3	88.9	90.8
	書くこと	1	68.6	69.6	73.8
	読むこと	2	66.4	71.0	74.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	8	57.1	61.1	67.0

B 問 題	対象設問数(問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	50.5	60.9	64.6
	書くこと	5	30.0	41.3	45.6
	読むこと	2	39.3	47.1	50.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0	—	—	—

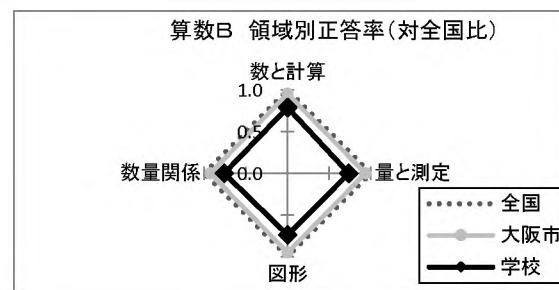
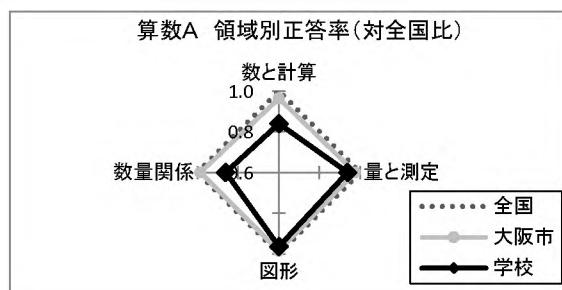
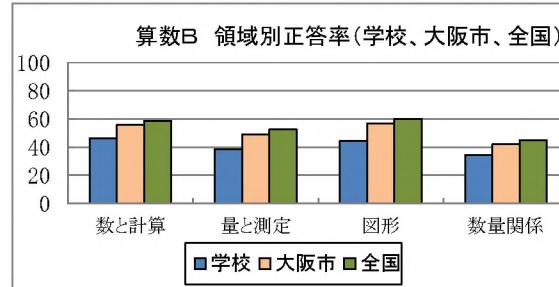


## 【 算 数 】

A 問 題	対象設問数(問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	数と計算	5	52.3	60.0	62.3
	量と測定	4	68.2	70.9	72.7
	図形	3	54.8	56.0	56.9
	数量関係	5	51.7	59.2	60.1

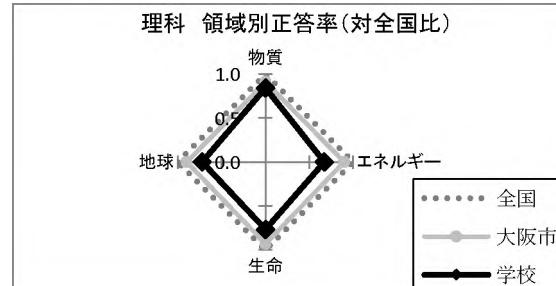
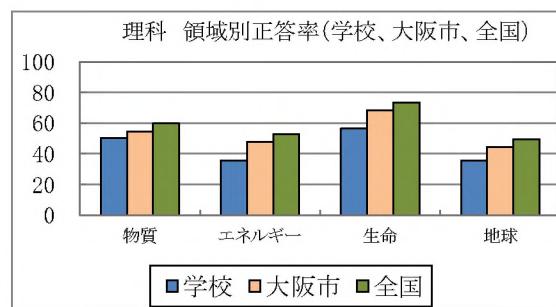


B 問 題	対象設問数(問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	数と計算	6	46.0	55.6	58.4
	量と測定	4	38.6	49.0	52.4
	図形	2	44.3	57.0	59.9
	数量関係	5	34.3	41.9	45.1



## 【 理 科 】

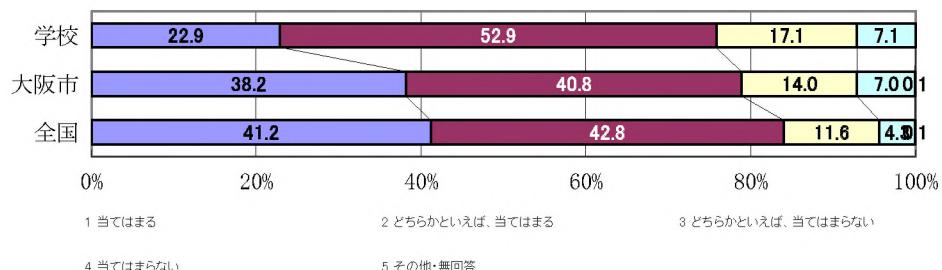
学習指導要領の領域等	対象設問数(問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A区分	物質	4	50.4	54.4	59.8
	エネルギー	4	35.7	47.7	53.1
B区分	生命	4	56.4	68.4	73.6
	地球	6	35.7	44.4	49.5



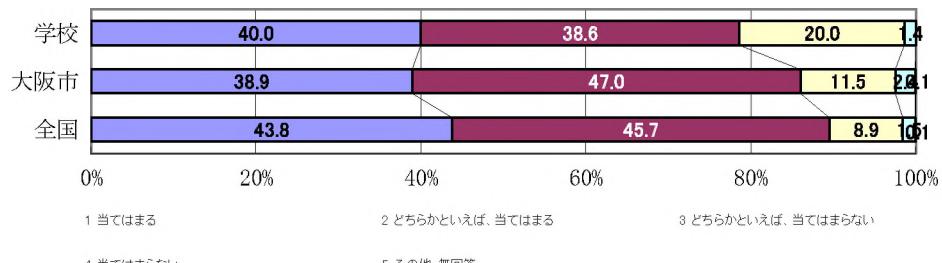
## 児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

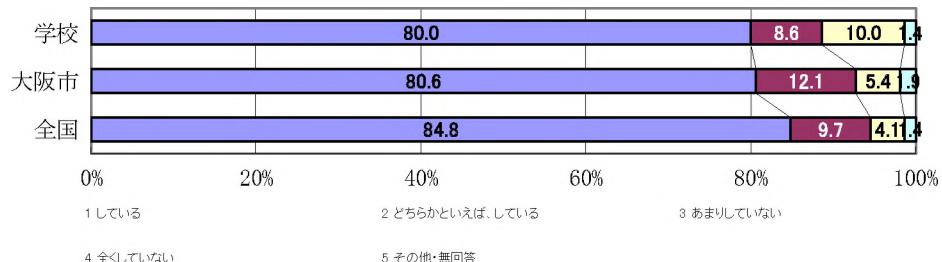
質問番号
質問事項
1
自分には、よいところがあると思いますか



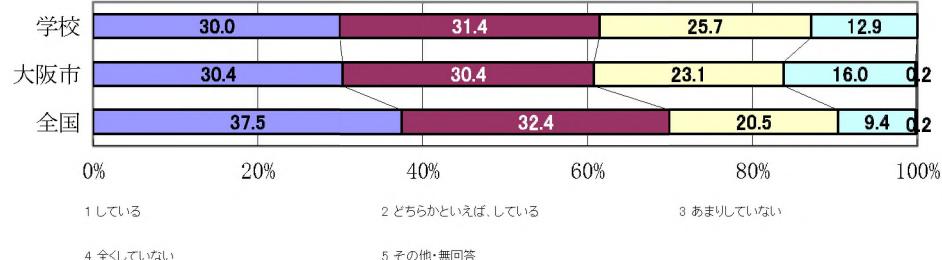
4
学校のきまりを守っていますか



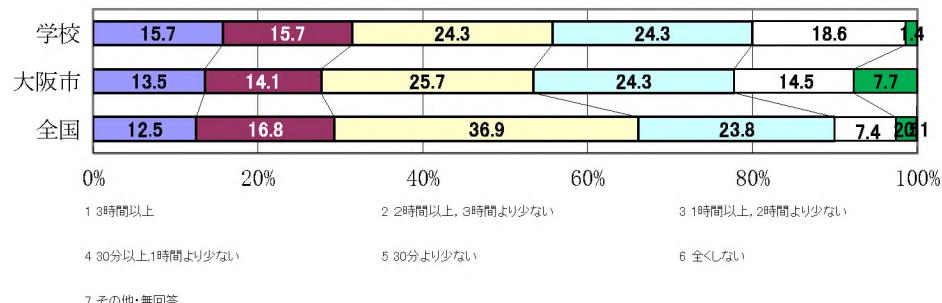
7
朝食を毎日食べていますか



13
家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか



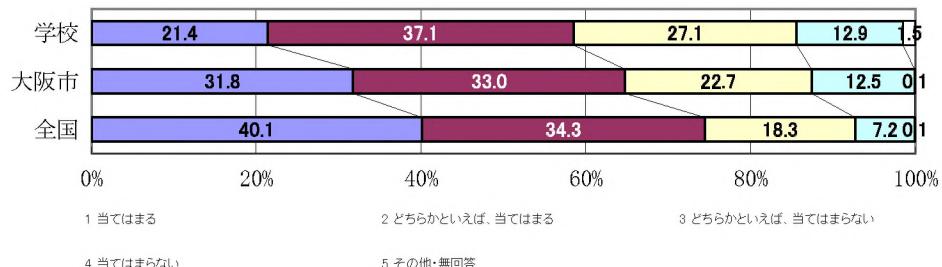
14
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)



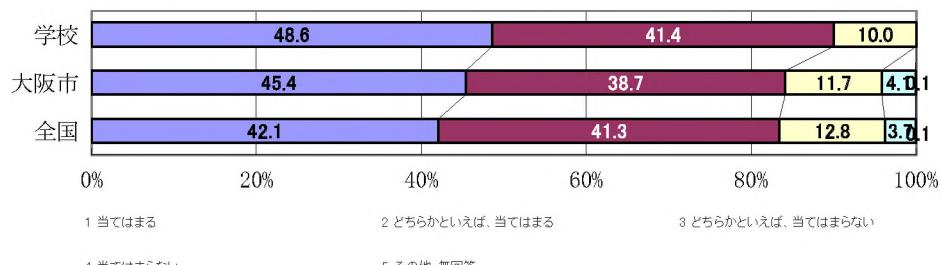
## 児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

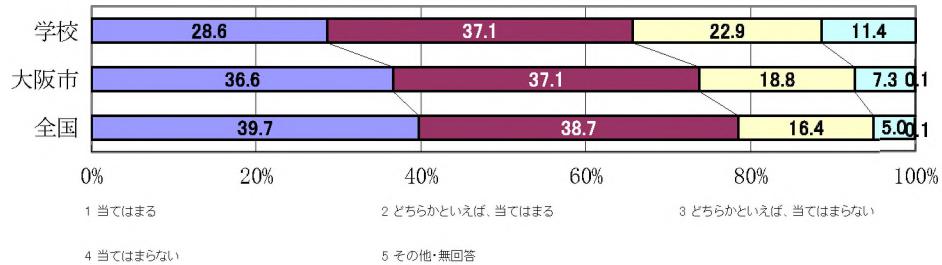
質問番号
質問事項
19
5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか



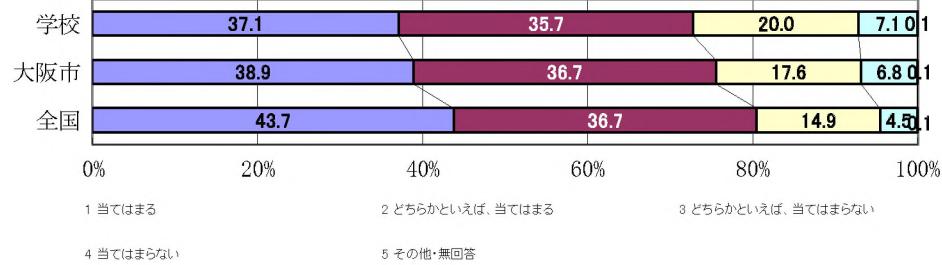
29
算数の授業の内容はよく分かりますか



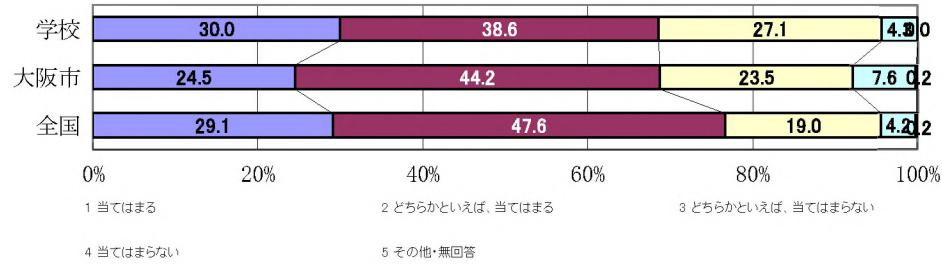
31
算数の問題の解き方が分からぬときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか



35
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか



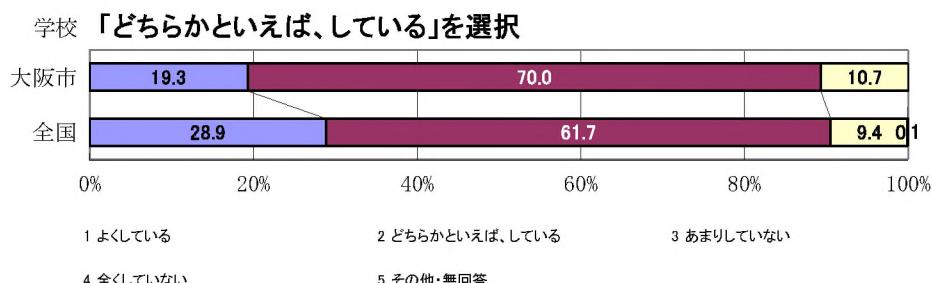
55
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか



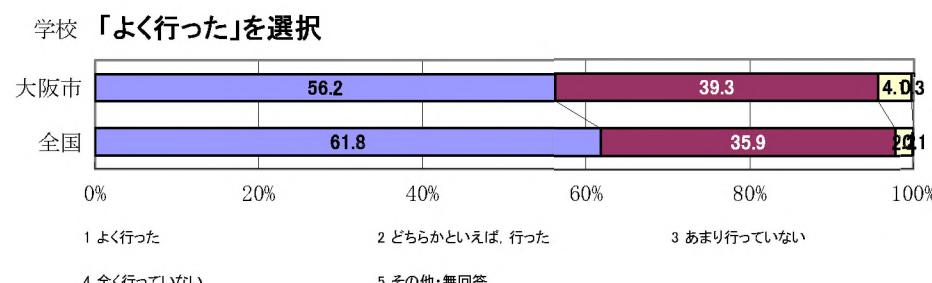
## 学校質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

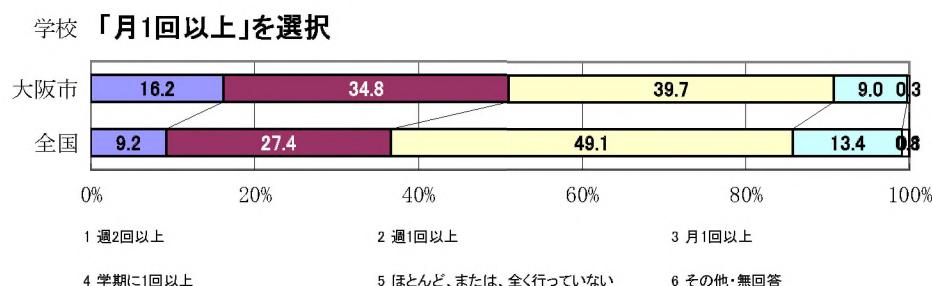
質問番号
質問事項
20
教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか



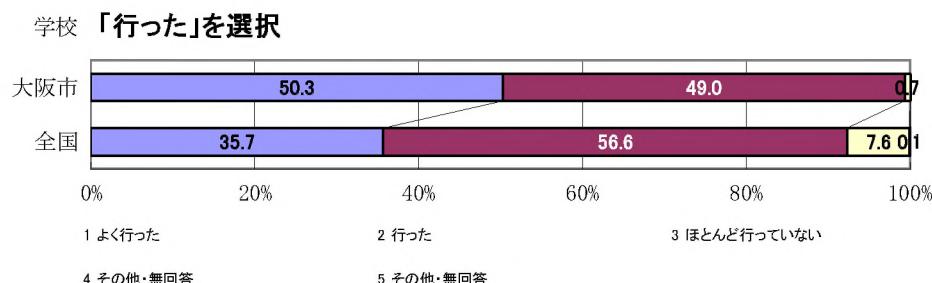
25
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方に向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか



29
調査対象学年の児童に対する指導において、前年度に、児童がコンピュータ等のICTを活用する学習活動を1クラス当たりどの程度行いましたか



32
平成29年度全国子ノ・子習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)



73
学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか

